

【授業の導入】三分

T 今日もまず読んでもらいます。今日は本木さんが一番、三浦さんが二番、…七番は…。

T 読む人はゆつくり、はつきり。次の人は立って用意して。

【よむ】八分

T (七人が音読する。他の児童は本を立てて目で読む。)

T では、本を静かに置いてください。今日の七人もしつかり読めてよかったです。

【とく】九分

T ちよつと見てください(黒板の上部に横線を書き、七つに区切る)。

T この一番から七番まで、全部出ていたのは誰？

C のぶです。

T そののぶが、大きく変化したところは何番かな？

C 六番だと思います。

T 六番です。ここが大きく変わった。一から六までの間で、のぶが一人で出していた気持ちは？

C ゆううつ。

T 何がゆううつ？

C 走るのがゆううつ。

T そう、走るのがゆううつ。

T 自分の走ることがゆううつ。別なことも入ってきたよ。誰のことが気になっているの、なまこ？

C お母ちゃんのこと。

T お母ちゃんです。だけ？

C けんじです。

T それと、何とかしようと思つてのぶがしたのは何？

C わりばしをけんじに見せる。

T 見せたのは何番？

C 四番です。

T そう、ここをわりばしを見せましたよ(四の所にわと書く)。

六番でのぶは変わることができた。のぶは走るのがゆううつだった。ここが変わったら、のぶは最後まで走る「とができた(六に 走 と書く)。

T 走った後は、のぶはどういう気持ちになったか？ラストだ



ったんだけど、どういう気持ちになったか？

C 誇らしかった。

T (六のところに ほ と書く。)

一では、ゆううつなので(黒板の一の所に△を書く)うれしくない。六では誇らしかったので、うれしい。

T のぶよが変われたのは誰のおかげ？

C けんじとお母ちゃんのおかげ。

T 最後は、のぶよ、けんじ、お母ちゃんにもよい運動会だった。

【かく】七分

T 今日と言葉の勉強をします。教科書は閉じてノートを開いてください。今から私が一から七まで、言葉を二つずつ言いますから、皆さんはノートに一つ目、二つ目と十四言葉を書きます。言いながら書きますから、耳で聞いて漢字で書けるのは漢字、書けないのは平仮名で書いてください。縦に続けないで横にずつと書いてね。

T 一番は日差し(板書)。約束(板書)。

保護者席(板書)。二位，一位の二位です(板書)。

特上(板書)。あつ焼きたまご(板書)。

拾う(板書)。水飲み場(板書)。

短きより走7(板書)。重い(板書)。体が重いつていう方の重いね。

軽く(板書)。初めて(板書)。

旗(板書)。笑った(板書)。

C (児童は耳で聞いてノートに書く。)

【かく】十六分

T 書き終えた人は、ノートに鉛筆を挟んでください。それでは、黒板で勉強します。最初は声を出さなくて読むよ(指示棒で指しながら児童は黙読)。

T 声を出して読みます(指示棒で指しながら児童は声に出して読む)。

T 今日、この日は運動会にいい日だなあつて分かるのはどの言葉ですか。

C 日差し。

T そう、日差しです。けんじはうれしいよ。のぶよはちよつとね。

T この中でお母ちゃんが頑張ったのはどれ？(黒板の字の中で)

C あつ焼きたまご。

T あつ焼き頑張ったぞ。後藤さん。

C 特上。



T 特上って何だっけ？

C もも肉。

T 高いんだよ。お母ちゃんが頑張ったけどできなかったことがあるんだよ。

C 約束。

T これね。(黒板の約束に強調点を書く)。けんじが頑張ったのはどこ？

C 二位。

T 二位になったんじゃないけどね。

C 二位に五メートルも差をつけた。

T それぐらい頑張った。けんじが頑張ったときに、お母ちゃんにいてもらいたかった場所があるんだ。

C 保護者席。

T ここにいてほしかったね。のぶよです。のぶよにとって初めてのうれしいことがあった。

C 短距離走です。

T そう、短距離走うれしいね。何がうれしい？

C 最後まで走れたこと。

T (黒板を指して)この中で言ったら、どの言葉がうれしいか？
とになる？

C 笑っただと思います。

T これうれしいね。まだないか？

C ラストが誇らしく聞こえた。

T そう、うれしいね。まだある？

C 軽く。

T 軽くなったのは何？

C 体です。

T 体です(黒板に体と書く)。体だけ？

C 思いも軽くなった。

T (思いと黒板に書く。)(今年はのぶよにとっては、いい運動会になったね。

T 漢字の言葉の勉強をしよう。反対の言葉を探してみよう。

C 重いと軽く。

T 反対言葉にするときは、重いと軽い。

T 拾うの反対は？

C 捨てる。

T そう(捨てると書く)。T 今日でもまず読んでもらいます。今日は本木さんが一番、三浦さんが二番、…七番は…。笑うの反対は？

C 泣く。

T これは、もうすぐ習う。短距離走の反対は？

C 長距離走。

T (長 と書く。)

T 今度は似たものの言葉です。初めての近いところ、午後の競技が始まったってあったでしょ(始 と書く)。この言葉はどう違う？

C 始まるは何かが始まるで、初めては一回もやったことがないことがはじまる。

T そう、すばらしい。上手に説明できました。もう一つ、あつ焼きたまごなんですが、あつ」という字に、こういう厚と(厚と書く)、(熱と書く)熱、こういうあつと、どっちの字を使うのがいいの？

C 本の厚い方だと思います。

T あなたたち、説明うまいね。皆さん、言葉の勉強おしまいにしてね、まず一回読もうね。

T しつかりした声で、腰を立てて、ちよつとスピード速くしよう。

C (日差しから笑ってまでを全員で声を出して読む。)

【よむ】三分

T ちよつとだけ、三分くらいあるから、またね、教科書開いて読んでもらうから。一番、てつみちさん。

C (一番を読む)。

T てつみちさんで時間になりました。

T 一から七までで、好きな所に手を挙げてください(複数も可)。

(一番〇人、二番〇人、三番三人、四番五人、五番三人、六番八人、七番十人)

T 一週間、勉強になりました。おしまい。

